



2016年度 JSID's Fellowship SHISEIDO Research Grant(資生堂賞) 受賞者ご紹介

2016年度JSID's Fellowship SHISEIDO Research Grant受賞者2名の先生をご紹介いたします(五十音順)。

本Grant授与式は、日本研究皮膚科学会 第41回年次学術大会・総会(仙台)にて開催します(2016年12月9日(金)19:40～、仙台国際センター 2F 展示室(ポスター会場))。

本研究のご成果については、次年度以降の日本研究皮膚科学会年次学術大会にてポスター発表していただく予定です。

ご 芳 名 : 並木 剛 先生 / Takeshi Namiki, M.D., Ph.D.

ご 所 属 : 東京医科歯科大学大学院皮膚科学
Department of Dermatology, Tokyo Medical and Dental
University Graduate School of Medicine

研究テーマ : アポトーシス誘導による悪性黒色腫新規治療法の開発
The development of a novel therapy against melanomas
by inducing apoptosis



ご 略 歴 : 1993年 3月 山梨大学医学部医学科卒業
1993年 4月 東京医科歯科大学医学部附属病院 皮膚科研修医
1995年 8月 埼玉県立がんセンター皮膚科医員
1999年 7月 埼玉県立がんセンター研究生(染色体遺伝子研究室)
2003年 7月 石心会狭山病院皮膚科医長
2005年12月 東京医科歯科大学皮膚科講師
2006年11月 米国国立衛生研究所(laboratory of cell biology, NCI, NIH)
Visiting fellow
2009年10月 東京医科歯科大学皮膚科講師
2010年 9月 横浜市立みなと赤十字病院皮膚科部長
2014年10月 東京医科歯科大学皮膚科講師

受賞のご感想 :

この度は、JSID's Fellowship SHISEIDO Research Grant(資生堂賞)を受賞させて頂き大変光栄に存じ上げます。悪性黒色腫の中でも本邦で発症率の多い末端黒子型悪性黒色腫の染色体遺伝子解析を中心に仕事を進めて参りました。近年、悪性黒色腫の治療は免疫療法・分子標的治療など大幅な革新を遂げています。末端黒子型悪性黒色腫に対する分子標的治療の開発に微力ながらも貢献できればと考えています。



2016年度 JSID's Fellowship SHISEIDO Research Grant(資生堂賞) 受賞者ご紹介

ご芳名：茂木 精一郎 先生 / Sei-ichiro Motegi, M.D., Ph.D.

ご所属：群馬大学大学院皮膚科学

Department of Dermatology, Gunma University Graduate
School of Medicine



研究テーマ：糖尿病性潰瘍に対する新たな治療法の開発

Development of the new treatment for diabetic
intractable skin ulcer

ご略歴：1999年 3月 群馬大学医学部医学科卒業

1999年 5月 群馬大学医学部附属病院 皮膚科研修医

2001年 4月 群馬大学大学院医学系研究科博士課程 入学
(生体調節研究所バイオシグナル分野所属)

2004年 3月 同卒業

2004年10月 東京大学医学部附属病院 形成外科研究員

2006年 6月 生体調節研究所バイオシグナル分野 COE研究員

2007年10月 米国国立衛生研究所(NIH)皮膚科 visiting fellow

2009年 1月 日本学術振興財団海外特別研究員(NIH)

2011年 7月 群馬大学大学院医学系研究科皮膚科学 助教

2013年 1月 群馬大学大学院医学系研究科皮膚科学 講師

受賞のご感想：

この度はJSID's Fellowship SHISEIDO Research Grant(資生堂賞)を受賞させて頂き、大変光栄に存じます。資生堂及び選考委員の先生方、ご指導頂きました先生方に厚く御礼申し上げます。全身性強皮症や糖尿病患者に生じる皮膚潰瘍や高齢者の褥瘡は難治であり、患者のQOLの向上や治療期間・医療費の削減のためにも、新たな治療法の開発が期待されています。本研究によって、難治性皮膚潰瘍の病態解明と新たな治療法の開発に少しでも貢献できるよう精一杯努力致します。